

令和3年3月30日

対面授業及びハイブリッド授業ご担当教員 各位

教務部長 山田 佳弘

対面授業及びハイブリッド授業実施上の留意事項について

新型コロナウイルス感染症対策のため、対面授業及びハイブリッド授業の実施にあたって、以下の基本的留意事項及び具体的留意事項に基づいて実施してください。

1. 基本的留意事項

- 各自でできる感染防止対策（手洗い、咳エチケットの徹底等）を日常生活の場面において、日頃から継続的に実行してください。
- 換気の悪い密閉空間、大勢が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場所の3つの条件が重なったときに、感染リスクが高くなると言われていることから、これらの日頃から避ける取組を工夫して実施してください。
- 免疫力を高めるため、日頃から十分な睡眠及び適度な運動、バランスの取れた食事などを心がけてください。

2. 具体的留意事項

- 毎朝の検温に努め、発熱や咳などの風邪症状が見られる場合や、同居している家族・身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、無理をせず授業を休講し、その後の授業の運営について教務課（03-5466-0135）へご相談ください。
- 学生には、**毎朝『検温表』への記入を義務付け、発熱や咳などの風邪症状が見られる場合は、受講を控えるよう指示**しています。そのため、これらの事由によって学生が欠席した場合は、**別途課題を課して提出者は出席扱いとするなどの柔軟な対応**をお願いします。また、学生には、授業開始時に担当教員から『検温表』の提出を求められた場合は提示するよう指示していますので、必要に応じて提示を求めてください。
学生には、担当教員から指示があった場合は、**授業開始前までに『新型コロナウイルス感染症拡大防止チェック表（以下「チェック表」という。）』へ記入し、授業開始時に担当教員へ提出するよう案内**をしていますので、必要に応じて指示をしてください。『チェック表』のすべてにチェックがつかない学生に対しては、受講を控えさせ、保健室に相談するよう指示してください。
- 教員、学生ともに**大学構内では必ずマスクを着用**してください。また、建物及び教室の出入口に手指用アルコール消毒液を設置していますので、**入退館及び入退室時の手指消毒を必ず行ってください**。なお、**学生には授業中に必ずマスクを着用するよう指示**していますので、マスクを着用していない場合は、國學院大學生協などでの購入を指示し

てください。

- **教員は授業の実施にあたり、必ずマスクを着用**してください。また、個人の必要性に応じてフェイスシールドを追加で着用してください。フェイスシールドの利用を希望される場合は、教員室までお申出ください。
- 教室内の空気は、常に教室外から新しい空気を取り入れ教室内で循環させ、その後、教室外へ排出することにより、**概ね 20 分程度ですべて入れ替わる仕組み**になっていますので、空調は切らないでください。また、なるべく体温調節のできる服装で出講してください。
- 上記のとおり換気機能は設けられていますが、加えて**授業中は適宜、教室の窓や扉を開放して換気を行い、密閉空間になることを避ける**よう心がけてください。また、天候等により、窓や扉を常時開放することが困難な場合でも、その場での教員の判断に基づき定期的に換気がなされるよう、ご注意ください。
- 学生が近距離（1m以内）で向き合うようなアクティブ・ラーニングは控えていただき、やむを得ず実施しなければならない場合は、席を互い違いにするなど、正対しないように配慮してください。また、飛沫拡散防止の観点から大声によるディスカッションとならないようにご指導ください。
- 教室は、収容定員の半分以下となるように配当しています。また、学生間の距離を確保できるように学生が着席できる席を指定していますので、着席不可の指示が貼られた席には学生を座らせないでください。
- 授業中の教員と学生間の距離を最低 1 メートル（できるだけ 2 メートル）は確保してください。

3. その他

- ハイブリッド授業については、遠隔方式で参加する受講生の出席管理を行うことができません。出席管理が必要な場合は、K-SMAPY II のアンケート作成機能を使用して小テストやコメントペーパーなどで回答させる方法か、K-SMAPY II の課題管理機能を使用して期限を定めてレポートを提出させる方法などで対応をお願いします。（詳細は『遠隔授業実施マニュアル（97 頁）』をご参照ください。）
- 授業を行う教室は、定期的に消毒を行っています。